SKYMODE700

ラジオコントロール 電動 エアークラフト

スカイモード 700

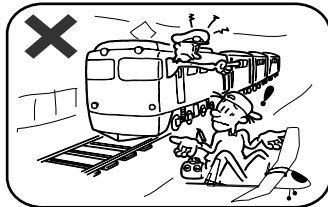
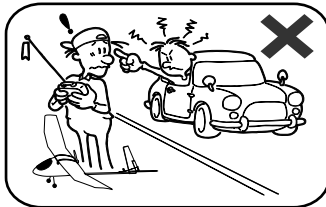
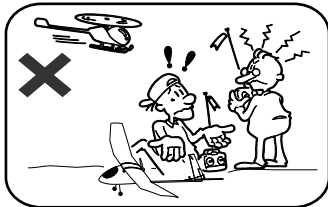
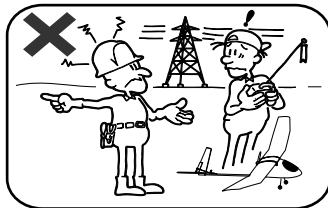
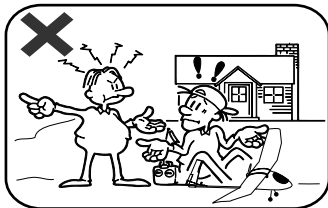
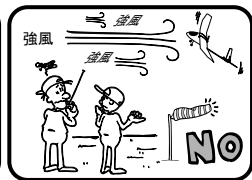
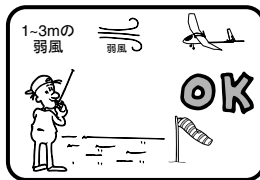
組立／取扱説明書

※006P（9V）乾電池 x 1本 （別売）

No.10171R / No.10171G

安全のための注意事項

1．この組立／取扱説明書をよく読んで、安全のための注意を守ってください。
ケガや事故等、危険防止のため、飛行場所は万一を考えて十分に安全であることを確認してから楽しんでください。

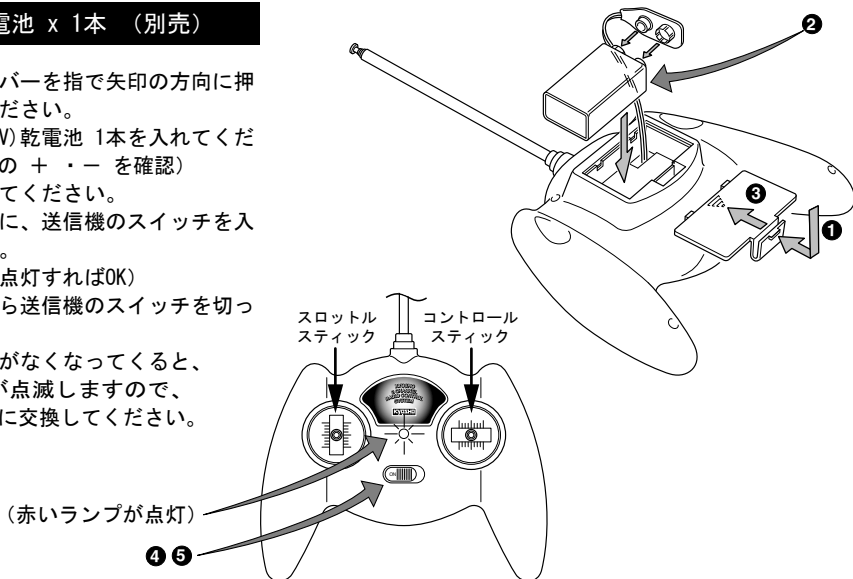
2. 風が強すぎる時（11ページ参照）は､コントロールを失いやすく、機体の破損やケガが起こりやすくなります。
人の居るところ、建物や送電線、高速道路、線路、車の近く、木や水のある場所、歩道等・・・の近くでは絶対に飛行させないでください。

3．プロペラは絶対に体に近づけないように十分
　注意してください。回転していない時でも、
　何かの拍子にプロペラが回ることがあります。
　機体をしっかりと押え、プロペラの後方に飛
　ばされる物がないか確認してください。
　特に、風が強い日の発進時は大変危険です。
　また、フライト中の飛行機を決して手で捕ま
　えようとしないでください。大ケガの原因となります。

4．無線操縦飛行機が始めての方には単独飛行が出来ませんので、必ず飛行経験者のアドバイスが必要です。
5．バッテリーの充電：セットに入っている充電器は、スカイモード700のバッテリー以外使用しない。充電中
　は充電器から離れないようにしてください。過充電の防止にもなります。
　また、充電中は発熱しますので、カーペットの上に倒して置いたりしないでください。
　（セットの充電器で4時間以上充電をしないでください。）
6．事故につながりますのでバッテリーや充電器、飛行機のモーター部分を絶対に傷つけないようにしてください。
　バッテリーがショート（リード線の＋と－が接触）すると火が出たり、大ケガや破損の原因になります。
7．飛行機を操縦する際、機体にバッテリーをつなぐ前に、必ず送信機のスイッチを入れてください。
　また、フライトが終わったら、送信機のスイッチを切る前にバッテリーのコネクターをはずしてください。
8．スカイモード700の周波数（バンド）は送信機の裏と機体にステッカーで表示してあります。
　同じ場所で、同じ周波数の飛行機を使わないように注意してください。
　また、スカイモード700は、R/CカーやR/Cボートと同じ電波帯を使用していますので、近くに
　R/CカーやR/Cボートが走行している場所では、絶対に飛ばさないこと。

1 送信機の準備

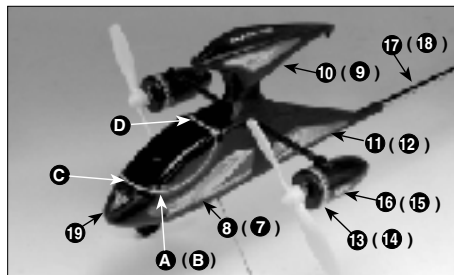
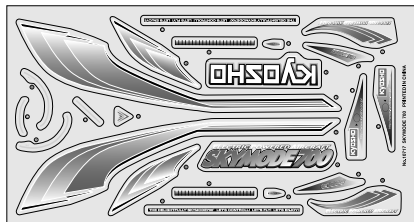
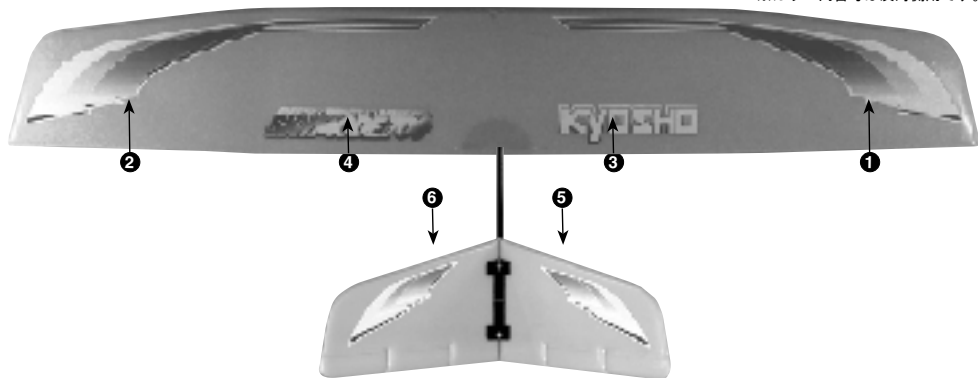
006P(9V)乾電池 x 1本 （別売）

❶送信機の裏カバーを指で矢印の方向に押して開けてください。
❷新しい006P(9V)乾電池 1本を入れてください。（電池の ＋ ・－ を確認）
❸カバーを閉めてください。
❹テストのために、送信機のスイッチを入れてください。
（赤いランプが点灯すればOK）
❺確認が出来たら送信機のスイッチを切ってください。
●送信機の電池がなくなってくると、赤いランプが点滅しますので、新しい乾電池に交換してください。

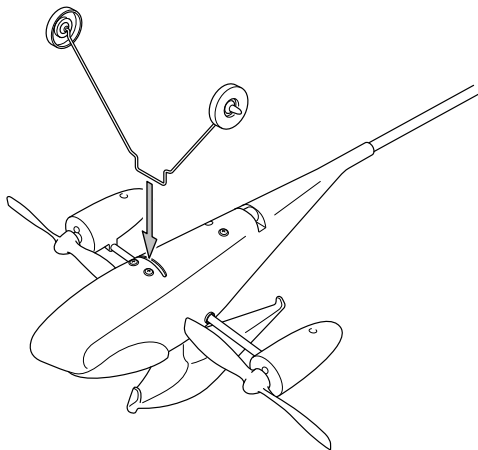
（赤いランプが点灯）

❹❺

2 デカール

※カッコ内番号は反対側用です。

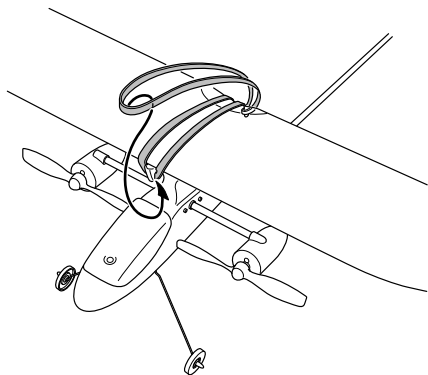
❷ ❹ ❸ ❶
❻ ❺

3 メインギヤと主翼の取付け

メインギヤの取付け

●胴体下部の溝にメインギヤを取付けてください

主翼の取付け

●主翼の中心にある目印の「・」を目安に主翼を胴体の中心においてください。

●主翼を2本のゴムバンドで図のようにかけて取付けてください。

●飛行前に必ず主翼が胴体の中心にしっかりと固定されていることを確認してください。

4 モーターのテストとバッテリーの放電

注意：バッテリーのコネクターを接続する時、
　　　プロペラの周囲に人がいないか注意。

❶スロットルスティックが中心にあることを確認し、送信機のスイッチを入れてください。
電源を入れてから約2秒間は送受信機内の自動調整が行われる為、レバーに触れないでください。

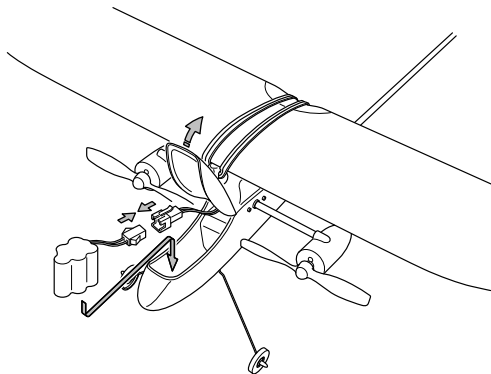
❷胴体にバッテリーを入れ、コネクターを接続してください。

注意：コネクターを接続する際にプロペラが一瞬回転する場合があります。プロペラが回転する周囲には手を入れないでください。

❸スカイモード700はコネクターを接続した時点でニュートラルを認識する特徴があります。スロットルスティックを上にした状態で接続するとモーターは動きません。接続の際にはスロットルが中心にあることを確認してください。この特徴はバッテリーを交換する度に機能します。

❹バッテリーを使い切るため、スロットルスティックを上（全開）にしてバッテリーの残量が無くなるまで、プロペラを回転させてください。

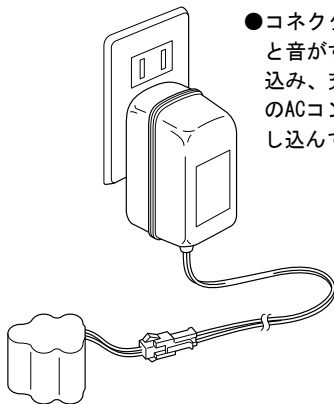
❺モーターテスト後、バッテリーを機体から外し、送信機のスイッチを切ってください。

❻すでにバッテリーが完全に放電されている場合がありますので、その場合は充電の説明に進んでください。

5 ニッケル水素バッテリーの充電

⚠ ニッケル水素バッテリー取扱い上の注意

●バッテリー使用の前に必ず取扱説明書をよく読んでください。(3ページ)
●スカイモード700専用です。他には使用しないでください。
●充電は、専用充電器を使用して正しく充電してください。
●分解・改造、外装チューブをはがしたりキズをつけないでください。
●水や海水につけたり濡らさないでください。
●使用しない場合には本体から取り外し保管してください。
●不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

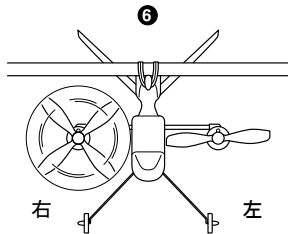
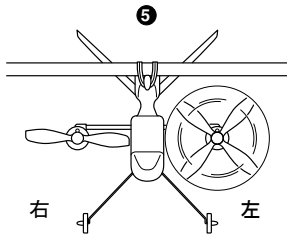
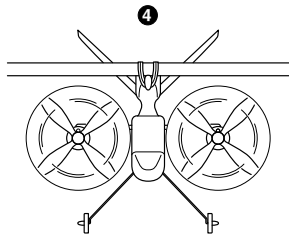
●充電時間は4時間です。
過充電しないように注意してください。

▲購入後初めて使用するバッテリーや長期間使用しなかったバッテリーは自然放電していますので、充電をする前に、モーターランさせオートカット後に所定の充電をしてください。
▲使用しない場合は本体から取り外し保管してください。
▲過放電・完全放電した状態での保管はしないでください。

●コネクターをカチッと音がするまで差し込み、充電器を家庭のACコンセントに差し込んでください。

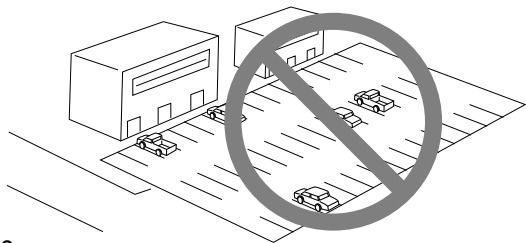
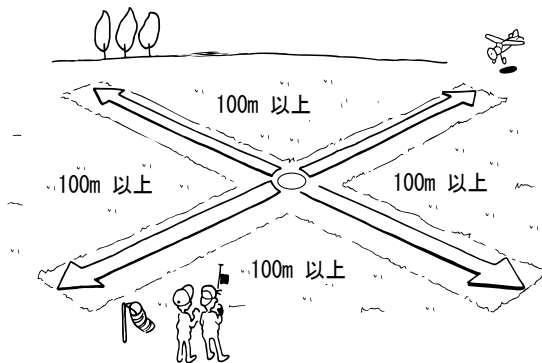
▲飛行後は、バッテリーが発熱しています。風通しの良い日陰などで約1時間30分以上冷却してから再度充電する。
※長期間保管する場合は電池の不活性化･過放電・完全放電を防止するため､満充電をしてから保管し1～2ヶ月に1度程度放･充電して頂くことを推奨いたします。

6 モーターコントロールのテスト

注意：このテストを行う時は必ずプロペラの周囲に人がいないか確認。

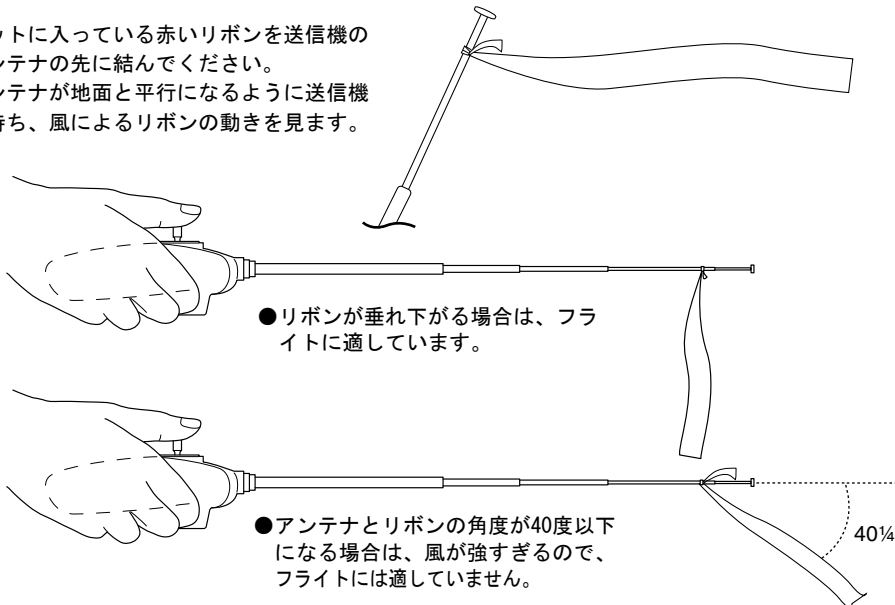
❶スロットルスティックが中心にあることを確認して送信機のスイッチを入れてください。電源を入れてから約2秒間は送受信機内の自動調整が行われる為、スティックに触れないでください。
❷胴体内にバッテリーを入れ、バッテリーコネクターを接続してください。注意：コネクターを接続する際にプロペラが一瞬回転する場合があります。プロペラが回転する周囲には手を入れないでください。
❸胴体の後部（テールブーム）を持ち、プロペラの周囲に何もない事を確認してください。
❹左のスロットルスティックを上にすると、両方のプロペラが回転します。
❺右のコントロールスティックを右にすると、左のプロペラが回って右が停止します。
❻右のコントロールスティックを左にすると、右のプロペラが回って左が停止します。

7 フライトに適した場所

●広くて柔らかい地面の草地が最適です。

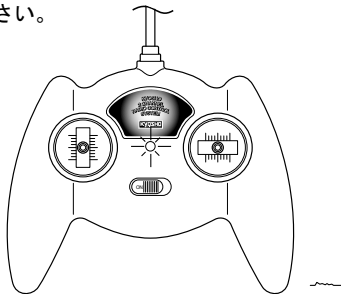
重要：
事故や衝突の恐れがありますので、下記の場所でのフライトはやめてください。
人の居るところ、建物や送電線、高速道路、線路、車の近く、木や水のある場所、歩道等などです。上記のことを守り、安全にフライトさせることを心がけてください。

8 フライトに適した環境

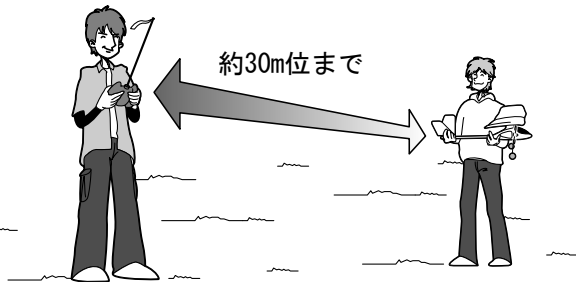
●セットに入っている赤いリボンを送信機のアンテナの先に結んでください。
●アンテナが地面と平行になるように送信機を持ち、風によるリボンの動きを見ます。

●リボンが垂れ下がる場合は、フライトに適しています。

●アンテナとリボンの角度が40度以下になる場合は、風が強すぎるので、フライトには適していません。

9 距離のテスト

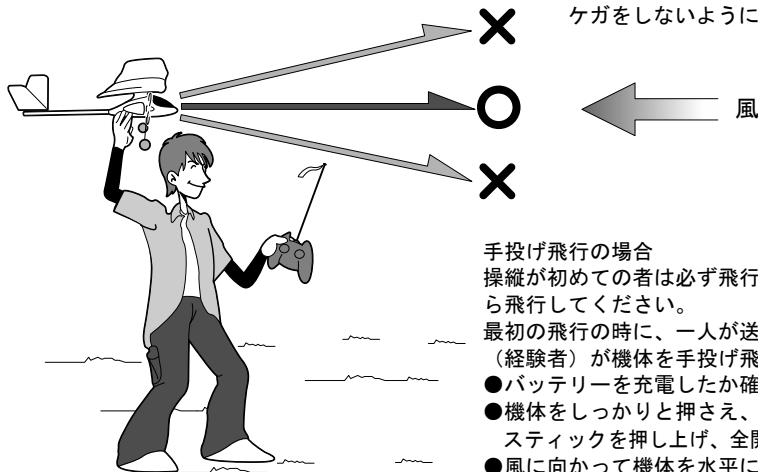
距離テストは2人で行う必要があります。
1人が送信機を持ち、もう1人が飛行機を持って行います。

注意：
危険ですので、飛行機を持つ人は、プロペラが体のどの部分にも触れないように十分注意してください。

確認：
右図のように距離テストを行って、
正常でなければ飛行が出来ません。
もし、正常でない場合は、
当社ユーザー相談室にご連絡ください。

●1人が送信機を持ち、もう1人が飛行機を持って約30m位離れてください。
●送信機のアンテナを一番縮め、送信機のスイッチを入れてください。
●飛行機のバッテリーのコネクターをつなぎ、カバーを閉めてください。
●1人が送信機を操作し、もう1人が、飛行機の操縦が正常に行われるか確認します。

●確認後飛行機のバッテリーのコネクターを外し、送信機のスイッチを切る。

10 手投げ飛行と滑走による離陸（1）

重要：
発進する前に、送信機に結んだ赤いリボンがどの方向に揺れるかを見て、風向きを確認します。

注意：
回転しているプロペラは大変危険です。必ず体（特に髪、頭、手）から離してケガをしないようにしてください。

手投げ飛行の場合
操縦が初めての者は必ず飛行経験者の指導を受けながら飛行してください。
最初の飛行の時に、一人が送信機で操縦し、もう一人（経験者）が機体を手投げ飛行させてください。

- ●バッテリーを充電したか確認。
- ●機体をしっかりと押さえ、送信機の左側スロットルスティックを押し上げ、全開にしてプロペラ回す。
- ●風に向かって機体を水平に保ち、多少強く前に押し出すように飛行させる。

10 手投げ飛行と滑走による離陸（2）

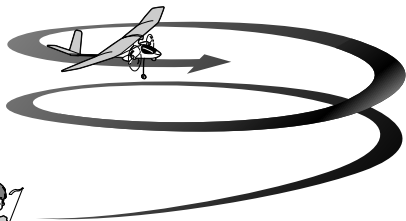
重要：
発進する前に、送信機に結んだ赤いリボンがどの方向に揺れるかを見て、風向きを確認します。

滑走による離陸の場合
（芝生や土からの離陸は出来ません）

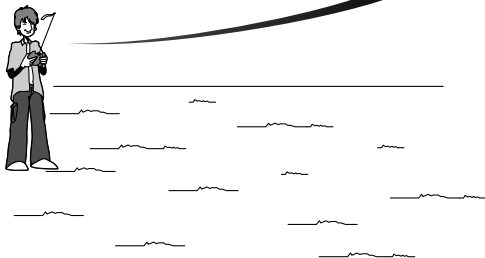
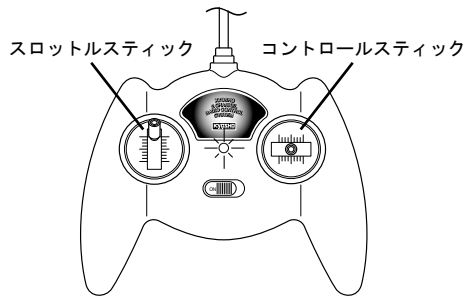
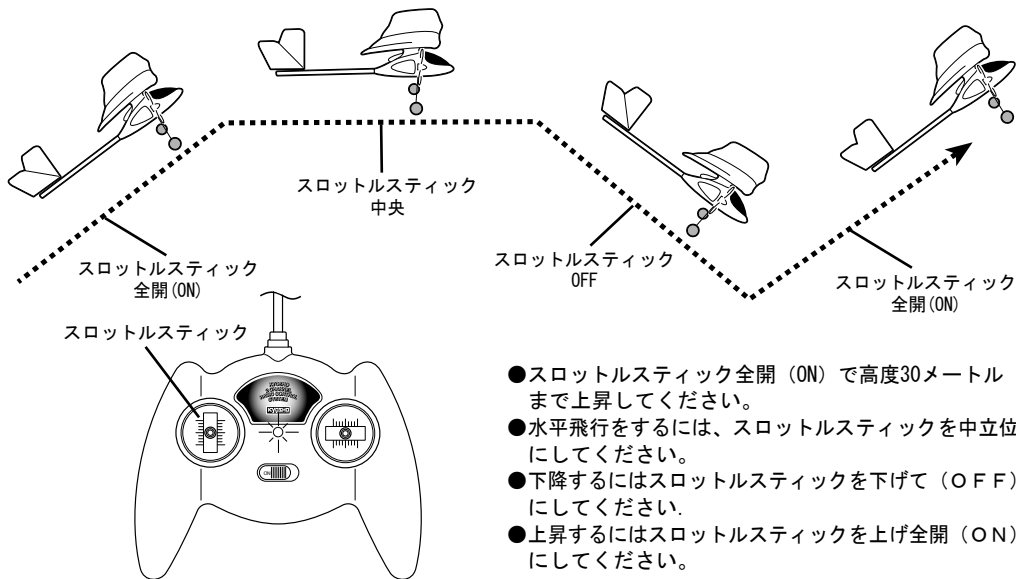
●機体の後ろに立ち、滑らかなアスファルトかコンクリートの上を風に向かって離陸させる。
●滑走中は機体が常に風に向かうように、送信機のコントロールスティックを操作してください。
●バッテリーが十分に充電されていれば約１０メートル位で離陸します。フルスロットルで、コントロールスティックを操作しながら上昇させてください。

注意：
回転しているプロペラは大変危険です。
必ず体（特に髪、頭、手）から離して
ケガをしないようにしてください。

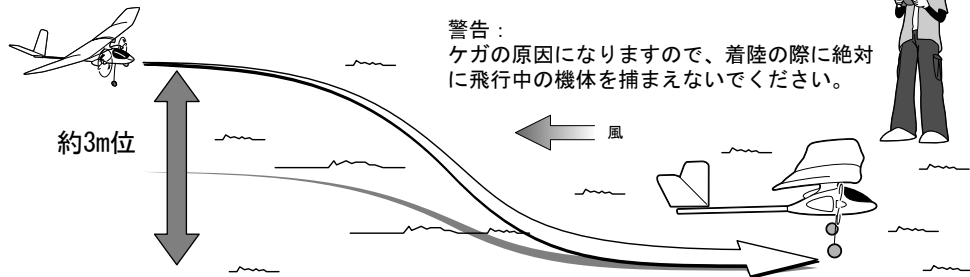
11 フライト

●スロットルスティックを上（全開）発進後、機体は上昇を始めます。送信機のコントロールスティックを左右に操作し、風に向かってまっすぐ飛行させてください。
●高度30メートル以上になるまで旋回しないでください。
●コントロール範囲は約300メートルです。遠くに飛ばし過ぎないよう注意してください。
●風に流されそうになったら、風上に向かって飛行するように操作してください。

旋回：機体を旋回させたい方向にコントロールスティックを操作してください。

12 スロットルスティックの操作

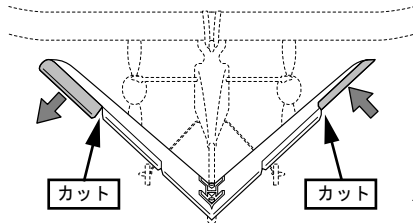
●スロットルスティック全開（ON）で高度30メートルまで上昇してください。
●水平飛行をするには、スロットルスティックを中立位にしてください。
●下降するにはスロットルスティックを下げて（ＯＦＦ）にしてください.
●上昇するにはスロットルスティックを上げ全開（ＯＮ）にしてください。

13 着陸

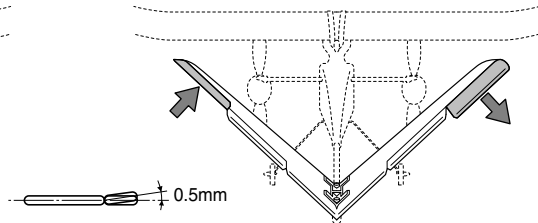
●機体がスロットルスティック全開（ＯＮ）でも上昇しにくくなったら、バッテリーの残量がなくなってきた証拠ですので、速やかに着陸の準備をしてください。
●機体の高度や方向に注意しながら着陸したい目的地を目指し、風に向かってまっすぐに飛行させながら高度約3メートルになったらスロットルスティックを下げ（ＯＦＦ）プロペラの回転を止めてください。
●経験を積めば着陸寸前にパワーを入れることで穏やかに着陸させられます。

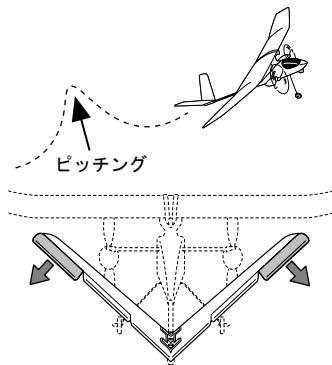
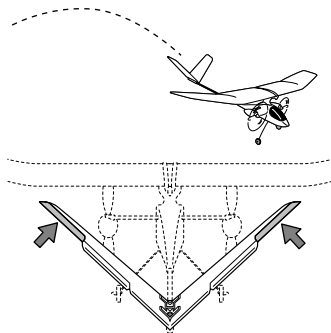
オート･カット･オフ：
バッテリーが残り少無くなった場合自動的にモーターを止め、安全に着陸出きるように操縦に必要な電源を確保します。
プロペラが止まったら、着陸の準備をしてください。

14 尾翼の調整（1）

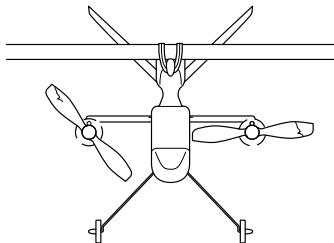
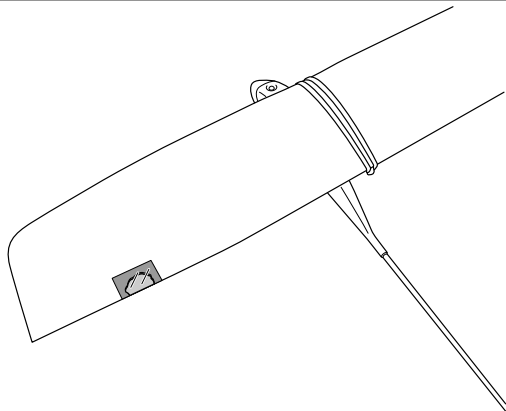
重要：
小さいものでも、よじれや、破れが主翼、
尾翼にある場合は、正確に飛行しません。
新しい部品と交換してください。

Ａ.機体がまっすぐ飛ばず、右に飛ぶ場合

●後ろから見て左側の尾翼トリムを0.5mm下に曲げて右側を上に曲げてください。
●テスト飛行を行ってください。
●まっすぐ飛ぶまで上記の調整を繰り返し、0.5mmずつ増やし調整してください。

Ｂ.機体がまっすぐ飛ばず、左に飛ぶ場合

●後ろから見て左側の尾翼トリムを0.5mm上に曲げて右側を下に曲げてください。
●テスト飛行を行ってください。
●まっすぐ飛ぶまで上記の調整を繰り返し、0.5mmずつ増やし調整してください。

15 調整（上昇速度）

飛行機が、急な角度で上昇したり、ピッチング（失速）するときは、下記の要領で調整する。
❶両方の尾翼トリムを0.5mmずつ下に曲げてください。
❷テストフライト
❸一定の角度で上昇するようになるまで、上記の手順を繰り返してください。

飛行機が、充電したバッテリーを積んでいるのに、送信機のスロットルスティックを全開（on）一番上にしても上昇しない場合、下記の要領で上昇速度を調整できます。
❶両方の尾翼トリムを0.5mmずつ上に曲げてください。
❷テストフライ
❸一定の角度で上昇するようになるまで、上記の手順を繰り返してください。

機体の修理

●機体が破損したり、主翼や尾翼が壊れたら、壊れた個所を覆うようにテープを貼って修理できます。
●破損の度合がひどい場合は、交換用のパーツがあります。24ページをご覧ください。

注意：
プロペラを交換する場合、左右専用プロペラとなりますのでご注意ください。各プロペラに（L），（R）と表示されておりますので、交換時には確認をしてから取付けてください。

故障かな？？・・と思う前に！

症状	原因	対策
動かない？	１．送信機の電池を確認してください。 ２．コネクターの接続不良。 ３．バッテリーの充電がされていない。 ４．墜落によって受信機が壊れてしまっている。	１．電池の＋・－を確認する。または、新しい乾電池に入れ替える。 ２．コネクターを、カチッと音がするまで押して確実に接続する。 ３．充電する。（8ページ参照） ４．胴体を交換する。
どちらかの方向に曲がってしまう？	１．尾翼トリムタブを調整。 ２．主翼が胴体の中心に取付けられていない。	１．尾翼トリムタブを調整する。（18～19ページ参照） ２．毎飛行ごとに主翼が胴体の中心にあることを確認する。
操作がしにくい？	１．尾翼トリムタブの調整が不完全。 ２．主翼か尾翼が壊れている。	１．尾翼トリムタブを調整する。（18～19ページ参照） ２．修理、または交換する。
急上昇してしまう？	１．尾翼トリムタブ角が不完全。 ２．風が強すぎる。	１．尾翼トリムタブを調整する。（18～19ページ参照） ２． 風がおさまるまで飛行を延期する。
上昇しない？	１．バッテリーの充電が不完全。 ２．尾翼トリムタブの調整が不完全。 ３．モーターの回転不足。	１．充電する。 ２．尾翼トリムタブを調整する。（18～19ページ参照） ３．当社ユーザー相談室に連絡する。

上手く飛行させるために・・！

1. 初心者が守らなければならないこと：
   常に安全な飛行を心掛けること。風の強い時の飛行はやめること。2〜3ページの注意事項を守ること。
2. 重要：
   飛行する場所を注意深く選んでください。
   直径約200m位の草地など、地面の柔らかいところが最適です。
3. 注意：
   送信機のコントロールスティックをいっぱいに操作しつづけるときりもみ下降し、墜落して壊れる危険があります。きりもみ飛行や急な角度で横に傾く様子が見えたら、機体を水平にするために反対の操作をしてください。
4. 飛行場で、より一層楽しむために、予備のバッテリーパックをご購入ください。
5. 飛行場では、常に太陽を背にして視界に入れないようにしてください。晴れた日はサングラスを着用してください。
6. 風のある日は、飛行機が風に流されないように風上に向かって飛ばしてください。風は、地上よりも高度が上がるにつれて強くなります。
7. 飛行機の正面を人に向けないようにしてください。また、頭上を飛行させないようにしてください。

スカイモード700での楽しみ方

少し練習すれば、下図のようなワンランク上の楽しみ方ができるようになります。
大会などに参加しなくても、ご家族、ご友人と一緒に楽しんで頂けます。

１．リボンくぐり

２．パイロン

３．定点着陸

４．滞空時間

スペアパーツ

●部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツを購入し、元どおりに直す事ができます。
●パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は郵便を利用して京商から通信販売で購入できます。
●お店にパーツの在庫がなくても、パーツ直送便をご利用になれば、いち早く購入ができます。
●京商では電話での直接のご注文は取り扱っておりませんのでご了承ください。

品番	パーツ名	内容（入数）	定価	発送手数料
10171-01	プロペラ	＊プロペラ（左右）各 1	450	200（一律）
10171-02	ランディングギヤセット	＊メインギヤ x 1　＊タイヤ x 2　＊トッパー x 2	500	
10171G-03	主翼セット（スカイモード700／グリーン）	＊主翼 x 1　＊ゴムバンド（主翼止め用） x 3	2300	
10171R-03	主翼セット（スカイモード700／レッド）	＊主翼 x 1　＊ゴムバンド（主翼止め用） x 3	2300	
10171G-04	尾翼セット（スカイモード700／グリーン）	＊尾翼 x 1　＊Vブレース x 1	1800	
10171R-04	尾翼セット（スカイモード700／レッド）	＊尾翼 x 1　＊Vブレース x 1	1800	
10171-05	デカール（スカイモード700）	＊デカール x 1	600	
10171-11	胴体（スカイモード700／02バンド）	＊胴体 x 1	7000	
10171-12	胴体（スカイモード700／04バンド）	＊胴体 x 1	7000	
10171-13	胴体（スカイモード700／06バンド）	＊胴体 x 1	7000	
10171-14	胴体（スカイモード700／08バンド）	＊胴体 x 1	7000	
10171-15	胴体（スカイモード700／10バンド）	＊胴体 x 1	7000	
10171-16	胴体（スカイモード700／12バンド）	＊胴体 x 1	7000	
71192	ニッケル水素バッテリー（6V-300mAh）	＊充電式ニッケル水素バッテリー／スペアコネクター	1500	

京商株式会社　〒243-0034 神奈川県厚木市船子153
●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115
お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く) 10：00～18：00

パーツの価格には、消費税は含まれておりません。また、定価、発送手数料、消費税は平成15年5月1日現在のもので、法規改正、運賃改定、諸事情などにともない変更になりますのでご了承ください。